

福山市老人大学

第55期入学式 式辞

春爛漫の本日、枝廣福山市長のご出席、今岡市議会議長、古谷市老連会長、池口元老大学長、高橋元学長を始めとするご来賓、講師の先生方のご臨席を賜り、大勢の老大学生の出席をいただいて、福山市老人大学第55期入学式が挙行できますこと、大変有難く嬉しく存じます。

今年度の入学学生数は1,539人、内、新規学生は220人です。男女比は、男性460人、29.9%、女性1,079人70.1%。平均年齢は75.4歳、90歳以上の方は35人、最高齢は男性95歳、女性96歳の方になります。複数教科受講者は277人で、延べ受講者は1,816人、昨年より105人の増となっています。

コロナ禍で1400人台まで落ち込んでいた学生数が、少しずつでも回復してきているということに安堵しているところです。

受講における特徴的な事では、今年度新規講座のヨガ、学級を追加したイキイキ体操、定員を拡大したポップスなど計11クラスが満席になりました。スマホは今年度も人気でしたが、より研究科にその傾向が強かったように思います。次年度に向けて、教科・クラス編成のあり方をさらに検討することが必要と考えています。

また今期も、短期講座として、「古典文学入門」、「デッサン」、「バラづくり」、「ボランティア育成」、さらに特別講座として「らくらくピアノ」を計画しています。新学期がスタートしましたらそれぞれ受講申し込みを受け付けますので、その際にはたくさんの方の申し込みを期待しています。

さて学生の皆さん、第55期、創立52年目を迎えた福山市老人大学へのご入学、誠におめでとうございます。みなさんはこれから1年間、週に1回、英会話や古典文学、ヨガ、太極拳、イキイキ体操、ポップス、スマホなどなど、ご自身が希望した教科を学ぶことになります。講師の先生の手ほどきを受けな

がら、少しずつ上達して、ワクワクと意欲がわいてきます。学級にはお友達ができます。挨拶をしておしゃべりをする心弾んできます。老大に来ることがどんどん楽しくなって、学習の日が待ち遠しくなります。気が付いてみたら、老大に自分の居場所が出来て、いつの間にかとても元気になっていました。どうでしょうか、私はこのような皆さんの笑顔が、今年も、いっぱい増えることを心から望んでいます。

一方で、みなさんは、単なる受講生や、ましてやお客様ではありません。福山市・市老連・講師の先生・先輩の学生方が尽力され、発展させてきた老人大学の学生であり、その伝統を引き継ぐ主役の一人ひとりです。

老人大学には「大学運営要諦」として、大切にしていることが4点あります。1つ「公共性・公平性・公開性が大原則」、2つ「老大の発展は大切にしている者の自助努力で」、3つ「校内美化状況は 老大生の品格の表れ」、そして4つ「老大生のマナーは 地域社会への感謝の証」。

創立52年目を迎えた老大ですが、2年目の後期から現在地（地吹町）の元福山市立高等学校を学び舎としています。1週間で、述べ約1700人の学生が通学しますので、午前午後の登下校の際には住宅街の近隣の道路がかなり混雑します。校内では職員と駐車場係りの学生が交通整理を行っていますが、周辺では地域の皆様に、何かとご迷惑をおかけしていることと思います。しかし、私が学長になって5年この方、この件においては一度も地域の方からお叱りを受けたことはありません。

このことは、学生の皆さんが交通ルールやマナーを守りながら通学していること、と共に老大は地域から温かい目で見えていただいているように思います。

私たちが生涯学習を楽しみ、充実した生活を送ることが出来ているのは、関係者の皆様のお力添えと共に、こうした地域のご理解があればこそそのことであり、まさに「老大生の立ち居振る舞いやマナーは地域社会への感謝の証」と思います。この地での学びはあとわずかとなりましたが、最後まで温かく見守っ

て頂けるような大学にしましょう。

昨年「老大だより」第48号に、こんな寄稿文を見つけました。「老人大学と私」「本棚の片付けをしていたら、父の老人大学の修了証書を見つけた。第20期から2年間、書道の講座に通っていた。とても癖のある字だったのを気にしていたのだろうか。その後、俳句の講座にも通っていた。

我が家で最初に老人大学に通ったのは母だった。父と同じ、書道と俳句の講座だった。俳句には特に熱心だった。季語の入った電子辞書を購入し、思いついた俳句を手帳に書き留めていた。俳句の雑誌に名前が載ると、とてもうれしそうだった。

私も退職して出会いがあり、老人大学の太極拳講座に通うことにした。母は喜んで「習える時に習うのがいいよ。」と励ましてくれた。一年は張り切って皆勤賞をいただいた。コロナ禍もあったが、先生や仲間の皆さんのお蔭で続けてこられたと思う。

我が家の老人大学の修了証書は、3人分で20枚近くになった。これからも健康に気を付けて頑張って通いたいと思う。人生100年時代、何枚まで増えるのか楽しみです」

どうでしょうか。素敵ですね。今年も、皆さんと共に集い学んでいることに喜びや誇りが持てる、そんな老大を築いていきましょう。

2025年（令和7年）4月3日 福山市老人大学 学長 飛田洋悟